

地震がきたらどうするの？



文：赤木 かん子

①

地震のときにいちばん大事なことは、

地震でいのちを落とさない、

たいていの地震は最初、ゆらゆらつと

そのあとにグラグラ、という強いゆれ

ゆらゆらつときたら、急いで上からな

(ぬ)

に逃げます。

こちらはサンプル画像です

紙芝居を始める前に

- ① 順番があっているかどうか、必ず確認しましょう。
- ② 下読みをしてから、子どもの前で演じましょう。
- ③ 抜き方など、工夫が必要なところをチェックします。
- ④ 大きな文字になっているところは、ゆっくり、はっきりと読んでください。
- ⑤ シリーズ2巻でひとまとまりです。すべて目を通しておいってください。

「いのちを落とさない」ということばが、子どもたち一人ひとりに届くように、心を込めてください。

危機管理紙芝居 シリーズ②  
〈地震がきたらどうするの？〉

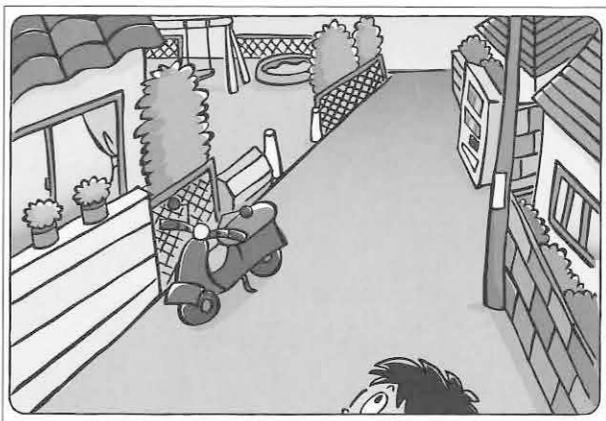
2011年9月1日 第1刷発行  
発行 埼玉福祉会 × 赤木 かん子 × mitty

新しい視点で図書を考える



社会福祉法人 埼玉福祉会 商品事業部  
〒352-0023 埼玉県新座市郷ノ内3丁目7番31号  
TEL. 048-481-2188 FAX. 048-481-0752

ホームページ <http://www.sai-fuku.com>  
Eメール [shohin@sai-fuku.com](mailto:shohin@sai-fuku.com)



この道で、地震がきたら危なそうなど



ゆらゆらして、あっ、地震だ！と思ったら、危なくないところに逃げて……グラグラと強くゆれたら……

(ぬく)

# こちらはサンプル画像です

植木鉢が落下する

塀が崩れる

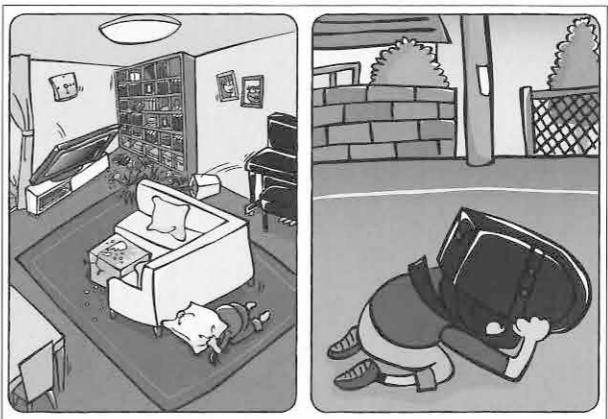
バイクが倒れる

自動販売機が倒れる

電信柱が倒れる

塀が崩れる

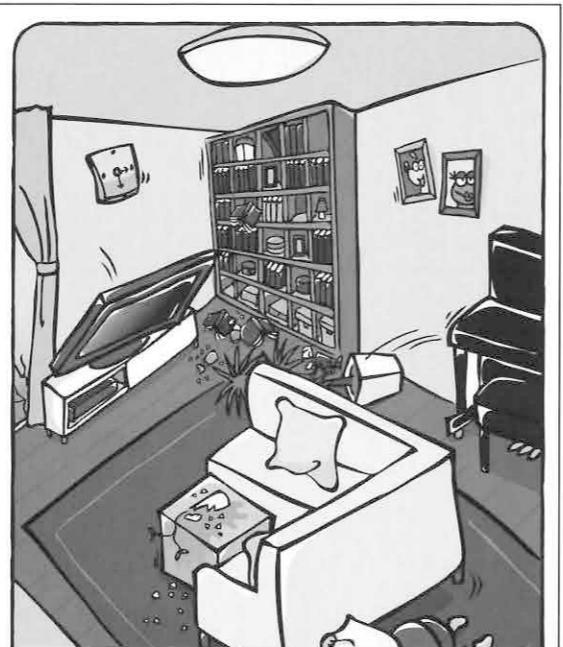
子どもたちに、危険なところを言ってもらいます。



そう、ダンゴムシ、のポーズ

地面にひざをついてまるくなり、ラン  
頭をケガすると考えることがむずかし  
だから、なにか落ちてきたときに頭を  
うちのなかにいるときに地震がきたら  
できるだけ、なにかが落ちてこない  
なにかで頭を守ってください。

この部屋で、危なそうなところはどこ



もし逃げる時間があるのなら、なるべく廊下にでてください。  
廊下のほうが落ちてくるものが少ないでしょ？

こちらはサンプル画像です

います。

ぐす。

子どもたちに、危険な  
ところを言ってもらい  
ます。



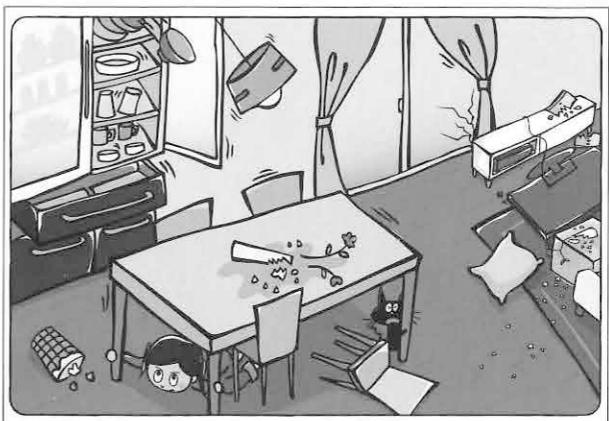
お風呂に入っているときにゆらゆらつ  
急いで脱衣場にでて、まずドアを開  
ドアが開かなくなるとこまるからね。  
逃げられるように急いで服を着ま  
少しくらいぬれてもいいからね。  
強いゆれがきたら、タオルで頭を  
なってください。

トイレにいるときにゆれたら、  
急いでスカートやズボンをはいて、  
ドアを開けっぱなしにして、  
壁につかまってください。

こちらはサンプル画像です

シ

子どもたちは、おとな  
は心配しないようなこ  
とを、とても気にして  
いることがあります。  
お風呂やトイレで地震  
が起きたときに、なに  
が心配なのか、子ども  
たちに聞いてみましょ  
う。  
そして、どうしたらい  
いか、話し合っておき  
ましょう。



テーブルの下したに入はいって、足あしをつかむの

頭あたまは上あげて、目めを開あけて、

なにか危あぶないものが飛とんでここないかど  
強つよい地震じしんのときには棚たながたおれたり、  
割われたりします。

こわいどどうしても目めをつぶつぶっちゃい  
ししっかりと見みていいないと危あぶないよ。

(ぬ)

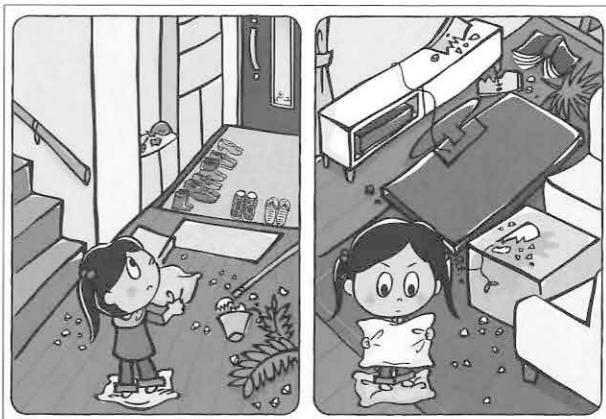
⑤

こちらはサンプル画像です

ください。

窓まどガラスが

ししっかり見るのは、身  
を守まもるために、とてとても  
大だい事じなこことです。  
子こどもたたちがししっかり  
覚おぼえておおいてくくれるよ  
うに、避ひ難なん訓くん練れんのとき  
ななどに、「目めはああいてい  
るるかな？」ななど、声こゑを  
かかけてああげまましょう。



ゆれがおさまったら、いそ急いで安全なと

割れたりこわれたりしたもので足あしを

スリッパがあれば、はきますが、なか

あるものを使つかって、廊下ろうかに脱出だっしゅつ！

足あしをケガすると逃にげにくくなるので、

玄関げんかんにいってドアを開あけつばな

(ぬ

こちらはサンプル画像です

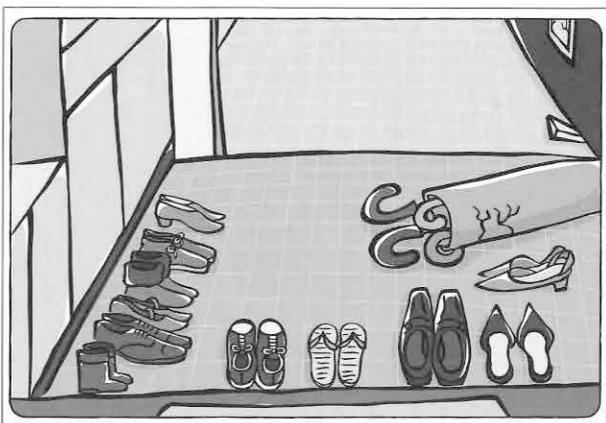
⑥

ル、

にしましょう。

さます。

スリッパがないときのために、ぞうきんをスリッパ代わりにして歩く練習をしておきましょう。



逃げるのにふさわしいくつはどれかな

そつですね。

はきなれた、走れるくつをは

一度くつをはいたらもう脱いじやど

帽子もあつたらかぶります。

もし、なくても、家のなかに取りに

(ぬ

⑦

こちらはサンプル画像です

ん。

子どもたちに言っても  
らいます。

正解のズックを指差し  
ながら。



屋根から落ちるかわらなどに気をつけ

くずれてきそうな塀や、落ちてきそう

安全なところへ避難します。

ちかくに海や川があったら、急いで、

だれでも強い地震がきたらこわいし、

あわててしまったら、深呼吸して

どうしたらいちばん安全か

すばやく動いてください。

(おし)

こちらはサンプル画像です

けましょう。

子どもたちと、地震が起きたときのことをいろいろ話し合います。そして、持っていた方がいいものは、なんなのかを、しっかり、もう一度確認しておきましょう。

また、大人は非常用袋や携帯電話を持って出ることを忘れないようにします。